

大分県老人クラブ 会員増強5つの取り組み

会員の減少が待ったなしの危機的な状況にある中、大分県老連では市町村老連、単位クラブとともに会員増強に5つの柱で取り組むこととしました。取り組みへの積極的なご参加をお願いいたします。

1

クラブの規模に応じ、年間1人から3人の純増を目標に取り組もう！

☆ 会員30人までのクラブは1人、60人までのクラブは2人、61人以上のクラブは3人の純増を目標に取り組みましょう！

2

全会員が知り合いに対面で勧誘の声かけをしよう！

☆ 会員ひとりひとりが1人以上の知り合いに直接声をかけましょう！
☆ 地道に何度でも勧誘しましょう！

3

クラブの解散や休会を未然に防ごう！

☆ 次期会長をあらかじめ決めておいたり、会長を複数にして共同代表とすることも一手です。
☆ 解散等の危機がある場合は早めに老連に知らせましょう！

4

自治会など地域団体と良好な関係を築こう！

☆ 自治会などと連携して、未加入者を把握し勧誘するなど会員増に繋げましょう！
☆ 地域の活動や祭りなどに積極的に参加して、老人クラブ活動をアピールしましょう！

5

いろいろな楽しい企画を考え、実施しよう！

☆ 旅行、カラオケ、健康マージャン、グラウンドゴルフや様々なニュースポーツなど、楽しそうなことをいろいろ実施し、「老人クラブは楽しい」ことを発信しましょう。
☆ 会の名前を変えて気分一新するのもありかもしれません。

- ★ 本県ではここ15年平均で、毎年4,000人を超える会員が減少しています。
- ★ このペースでいくと令和15年には会員が0人となります。
- ★ 何とか減少に歯止めをかけ、増加に転ずる努力をしなければなりません。
- ★ 県下には会員30人以下のクラブは545、31～60人は549、61人以上は136あります。それぞれが目標を達成すると2,051人の増加です。
- ★ 一度にまとまった人数の会員が減少するクラブの解散・休止を防止することも同時に取り組まなければなりません。

1

- ★ 老人クラブに入らない理由の上位3位は、
① 誘われないから(45%) ② 何となく(36%) ③ 特にない(35%)
(元日本福祉大学教授 中川晴夫氏)
- ★ であれば、クラブの会員全員が、それぞれの知り合いの高齢者に積極的に声かけをしましょう！
それも1回ではなく、地道に何度でも、対面で直接、が効果的です。

2

- ★ 会長が病気になるなどして、後任のなり手がなくなった場合に、急にクラブは解散や休会に追い込まれます。
- ★ そうなる前にあらかじめ次期会長を決めておいたり、複数の会長を置く共同代表という形を取ることも一つの良い方法です。
- ★ 会長に様々な負担が集中しているのも解散等の一つの要因ですので、役割分担をして、偏る負担を複数の役員で分散することを検討しましょう。
- ★ 女性会長のクラブは気配りができて雰囲気も良くなるとの声を聞きます。女性が会長や役員に就くことは有効な方法の一つです。

3

- ★ 同じ地域の自治会や町内会などの役員と普段から顔の見える良い関係を築くことは、老人クラブにとって大変大事なことです。
- ★ 地域の行事(掃除や祭りなど)に会長など役員や会員も積極的に参加してお互いに顔の見える関係を構築し、老人クラブの存在や活動を大いにアピールしましょう！

4

- ★ 旅行、カラオケ、健康マージャン、健康体操、グラウンドゴルフ、花づくり、地域の清掃など健康づくり、生きがいづくりのためのいろいろな活動の企画を考えて実施し「老人クラブは楽しい」ことを積極的に広報しましょう。
- ★ 「老人」という言葉ははずすことや伝統あるクラブ名を変えることについては賛否がありますが、会員増強のためには何でもやってみようということで、名称変更してイメージチェンジするのも一つの方法です。

5